

# 輸 血 部

部長(併任) 三崎拓郎  
副部長 橋口清博  
主任臨床検査技師 真田道野淳子  
臨床検査技師 多葉田祥代  
臨床検査技師 婦長江富子

## ◆ 著書

- 1) Watanabe A., and Higuchi K.: Influence of diabetes mellitus complication on prognosis of liver cirrhosis-comparison between type B and type C. In Advances in Hepatic Encephalopathy and Metabolism in Liver Disease ISHE 1999, by Yurdaydin C., and Bozkaya H,(Eds.): 67-76, Ankara University Press, Ankara, 2000. (2000年追加)
- 2) 國谷等, 高原照美, 橋口清博, 渡辺明治: 肝硬変短絡路閉鎖により脳MRI所見の改善を認めた靜脈管開存による門脈一大循環系短絡路性脳症の1例。「最新肝臓病学—全国現状調査から将来展望まで」渡辺明治, 橋口清博編, 92-94, 新興医学出版社, 東京, 2001.
- 3) 河相覚, 愛場信康, 國谷等, 橋口清博, 渡辺明治, 福井博, 遠藤文夫: 肝硬変非肝硬変性脳症の全国調査とその分類。「最新肝臓病学—全国現状調査から将来展望まで」渡辺明治, 橋口清博編, 136-142, 新興医学出版社, 東京, 2001.
- 4) 安村敏, 新敷吉成, 橋口清博, 渡辺明治: これからのがん病学—将来への展望マーカー遺伝子導入細胞を用いた肝癌転移メカニズムの解明と活性化ナチュラルキラー細胞による免疫治療。「最新肝臓病学—全国現状調査から将来展望まで」渡辺明治, 橋口清博編, 233-236, 新興医学出版社, 東京, 2001.
- 5) 橋口清博, 渡辺明治: 肝硬変症例における十全大補湯による肝癌抑制効果の検討。「Methods in Kampo Pharmacology 第5回白樺湖シンポジウム」, 天然薬物研究方法論アカデミー編, 29-33, ライフサイエンス・メディカ, 東京, 2000. (2000年追加)

## ◆ 原著

- 1) Shimizu Y., Murata H., Kashii Y., Hirano K., Kunitani H., Higuchi K., and Watanabe A.: CC-Chemokine receptor 6 and its ligand macrophage inflammatory protein-3a might

be involved in the amplification of local necroinflammatory response in the liver. Hepatology 34:311-319, 2001.

- 2) 渡辺明治, 橋口清博, 月城孝志, 中村浩彦, 篠田一三, 大橋俊夫: 非代償性肝硬変例における多価不飽和脂肪酸投与の臨床的意義—肝疾患用流動食へパネシア投与の影響—. 栄養—評価と治療 18(2):251-258, 2001.
- 3) 清水幸裕, 菓子井良郎, 安村敏, 峰村正実, 岡田和彦, 南部修二, 高原照美, 渡辺明治, 安山俊学, 舟木淳, 新敷吉成, 土田敏博, 寺崎禎一, 橋口清博: C型慢性活動性肝炎に対する天然型インターフェロン $\alpha$  製剤オーアイエフの臨床的有用性に関する検討—HCV-RNA量, Genotypeとオーアイエフ投与早期のHCV-RNA量の変化との関連について. Pharma Med 19(5):105-110, 2001.
- 4) Watanabe A, Okada K, Shimizu Y, Wakabayashi H, Higuchi K, Niiya K, Yasuyama T, Ito H, Tsukishiro T, Kondoh Y, Emi N, and Kohri H: Nutritional therapy of chronic hepatitis by whey protein (non-heated). J Med 31(5, 6):283-302, 2000. (2000年追加)

## ◆ 学会報告

- 1) Yasumura S., Higuchi K., Shimizu Y., Yasuyama T., Watanabe A., Yamauchi K., Teraguchi S., and Hayasawa H: EFFECT OF BOVINE LACTOFERRIN IN PATIENTS WITH CHRONIC HEPATITIS B 5th International Conference on Lactoferrin, 2001, 5, Banff, Alberta, Canada.
- 2) 康山俊学, 橋口清博, 安村敏, 清水幸裕, 渡辺明治, 寺口進, 早澤宏紀: B型慢性肝炎に対するラクトフェリンの治療効果の検討. 第37回日本肝臓学会総会, 2001, 5, 横浜.
- 3) 清水幸裕, 村田浩之, 國谷等, 平野克治, 渡辺明治, 橋口清博: ワークショップ9「肝疾患とサイトカイン」肝疾患の肝内壊死, 炎症反応におけるmacrophage inflammatory protein-3a (MIP-3a) の役割について. 第37回日本肝臓学会総会, 2001, 5, 横浜.
- 4) 清水幸裕, 村田浩之, 平野克治, 渡辺明治, 橋口清博: 一般演題肝内リンパ球の動態 (dynamics) について-T細胞とB細胞を比較して. 第37回日本肝臓学会総会, 2001, 5, 横浜.
- 5) 清水幸裕, 村田浩之, 平野克治, 渡辺明治, 橋口清博: 一般演題 肝内リンパ球におけるCD103 + Tリンパ球の意義. 第37回日本肝臓学会総会,

- 2001, 5, 横浜.
- 6) 南部修二, 高原照美, 安村 敏, 新敷吉成, 清水幸裕, 樋口清博, 渡辺明治: 肝星細胞における増殖能, 運動性, MMP遺伝子発現の肝内胆管癌細胞由来促進因子としてのbasic FGFの関与. 第37回日本肝臓学会総会, 2001, 5, 横浜.
- 7) 峰村正実, 高原照美, Xue Feng, 平野克治, 中山康弘, 新敷吉成, 安村 敏, 南部修二, 清水幸裕, 樋口清博, 渡辺明治: p53癌抑制遺伝子によるTGF-alpha遺伝子の発現調節機構. 第37回日本肝臓学会総会, 2001, 5, 横浜.
- 8) 安村 敏, 新敷吉成, 宮崎孝子, 小川浩平, 岩本真也, 樋口清博, 渡辺明治: bezafibrateの疎水性胆汁酸に対する細胞保護効果について. 第37回日本肝臓学会総会, 2001, 5, 横浜.
- 9) 小川浩平, 新敷吉成, 安村 敏, 宮崎孝子, 岩本真也, 樋口清博, 渡辺明治: 肝癌細胞株における酪酸ナトリウムのFas誘導apoptosisに対する影響. ワークショップ15 肝癌とアポトーシス. 第37回日本肝臓学会総会, 2001, 5, 横浜.
- 10) 平野克治, 清水幸裕, 中山康弘, 村田浩之, 新敷吉成, 安村 敏, 峰村正実, 南部修二, 渡辺明治, 樋口清博: 肝細胞癌を合併した非代償性B型肝硬変に対するlamivudine投与. 第37回日本肝臓学会総会, 2001, 5, 横浜.
- 11) 多葉田祥代, 道野淳子, 西野主眞, 折原正周, 安村 敏, 樋口清博, 三崎拓郎: 当院における副作用管理の現状について. 第49回日本輸血学会総会, 2001, 5, 東京.
- 12) 岩本真也, 安村 敏, 宮崎孝子, 小川浩平, 福地将彦, 品川和子, 福田加奈子, 横本伸哉, 長沼甲太郎, 折原正周, 新敷吉成, 若林泰文, 樋口清博, 斎藤清二, 渡辺明治: 難治性潰瘍性大腸炎におけるリンパ球除去療法有用性と作用機序の検討. リンパ球の解析を中心に. 第43回日本消化器病学会大会 (DDW-Japan), 2001, 10, 京都.
- 13) 宮崎孝子, 新敷吉成, 小川浩平, 岩本真也, 安村 敏, 若林泰文, 南村哲司, 塚田一博, 樋口清博, 渡辺明治: 大腸癌におけるFas誘導アポトーシスに対する抵抗性のメカニズムの解明. 第9回日本消化器病学会大会 (DDW-Japan), 2001, 10, 京都.
- 14) 中嶋隆彦, 新敷吉成, 南部修二, 江幡和美, 峰村正実, 清水幸裕, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治, 原 祐郁, 松井一裕, 高野康雄: Kasabach-Meritt症候群を呈した肝巨大血管腫に放射線照射が著効した1例. 第34回日本肝臓学会西部会, 2001, 12, 高知.
- 15) 澤崎拓郎, 峰村正実, 中山康弘, 石塚 健, 福地将彦, 清水幸裕, 高原照美, 斎藤清二, 渡辺明治, 樋口清博, 土田敏博: ラミブジン耐性B型肝炎ウイルスに対しIFN投与を試みたB型肝硬変の1例. 第92回日本消化器病学会北陸支部例会, 2001, 6, 富山.
- 16) 多葉田祥代, 岡田佳恵, 浦畠久美子, 江口富子, 道野淳子, 西野主眞, 新敷吉成, 折原正周, 樋口清博, 三崎拓郎, 安村 敏, 桑原昭男, 根津義広, 堀 信浩: 当院における輸血管理システムの現況 -第3報-. 第19回日本輸血学会北陸支部総会, 2001, 10, 金沢.